



2018 (平成30) 年5月17日発行

# 市議会だより おおだ

## 大田市議会新体制スタート！

### 4月臨時会

- 新正副議長、各常任委員会等決まる！…………… 2
- 災害復旧に12億円の補正…………… 4

### 3月定例会

～平成30年度一般会計予算可決  
総額227億900万円～

- 総合戦略・中心市街地活性化に重点配分… 4
- 介護事業、使用料の見直し等6人が市政を問う… 10
- 新総務教育委員会紹介…………… 16

# 大田市議会新体制スタート



副議長  
林 茂樹



議長  
石橋 秀利

## 正副議長就任あいさつ

私どもは、過般四月十九日の臨時市議会においてご推挙いただきました、正副議長の要職を務めさせていただくことになりました。

誠に身に余る光栄でありますとともに、その職責の重大さを痛感いたしております。

現在、当市にあっては新大田市立病院の建設をはじめ、地域医療の確保、産業振興、少子高齢化対策、集落機能の維持、活性化など喫緊の課題が山積いたしております。

これらの課題に対し、議会としても積極的に政策提言を行うなど、皆様のご期待に応えるべく大田市発展に全力で努力してまいります。

今後とも、市民の皆様の格別のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

◎委員長    ○副委員長

## 常任委員会

### 総務教育 7名

◎松村信之  
河村賢治

○胡摩田弘孝  
小林 太

石橋秀利  
三谷 健

木村幸司

### 民生 6名

◎石田洋治  
小川和也

○清水 勝  
亀谷優子

月森和弘

林 茂樹

### 産業建設 7名

◎大西 修  
森山幸太

○森山明弘  
和田浩司

塩谷裕志  
根宜和之

内藤芳秀

### 議会運営委員会 7名

◎塩谷裕志  
小林 太

○松村信之  
石田洋治

木村幸司  
胡摩田弘孝

大西 修

### 広報広聴委員会 9名

◎林 茂樹  
胡摩田弘孝  
亀谷優子

○木村幸司  
三谷 健

松村信之  
和田浩司

小川和也  
根宜和之

### 監査委員(議会選出) 1名

月森和弘

# 3月定例市議会で審議された 平成30年度一般会計予算 ～大田市総合計画 施策体系別にピックアップ～

## 地域資源のネットワークによる活発な産業づくり (産業振興)

石見神楽振興事業	328万円	大田市の伝統芸能である石見神楽を活用し、市内外からの誘客、滞在を促し宿泊数増加を図るため、神楽公演の開催に対し助成を行う
農業農村整備事業	1億1,472万円	農業・農村の果たす機能を維持・発展させるための農業生産基盤の整備・保全、生活環境の整備



## だれもが住みよく、安心・やすらぎを感じる生活づくり (保健・医療・福祉)

地域福祉支え合い推進事業	2,602万円	住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくり及び育児、介護、障がい、貧困など、世帯全体の複合化・複雑化した課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制づくりを支援する
産後ケア事業	393万円	産後に精神的不調のある母親を早期に把握し、心理的な安定を図り、健やかな育児ができるように支援を行う



## 県央の中核都市にふさわしい、快適な基盤づくり (基盤整備)

都市公園整備事業	2億1,230万円	大田総合体育館等の都市公園施設について、計画的に更新、改築、修繕を実施
西部消防署庁舎新築整備事業	4,128万円	西部消防署を移転新築し活動拠点施設として整備を図る (用地取得、測量調査、基本設計)



## 石見銀山をはじめとする歴史文化を生かした創造的な人づくり (教育・文化)

小中高魅力化推進事業	1,099万円	小中学校や市内県立高校において地域の特色を活かした教育を進めるとともに、幼、保、小、中、高が連携し、統一カリキュラムの活用を進め、魅力ある大田市の教育を推進する
激励金交付事業	40万円	文化・スポーツ等の振興を図るため、各種全国大会及び国際大会に出場する市民等へ激励金を交付



3月定例議会は一般会計、特別会計の平成30年度当初予算のほか、平成29年度補正予算、条例の制定、一部改正、一般案件を慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。

平成30年度一般会計予算 227億900万円 (対前年度当初比 2.2%減)

## 創生総合戦略、中心市街地活性化に重点配分!



全国植樹祭関連準備経費  
1億1,400万円



仁摩地区道の駅整備事業  
1億400万円



耕地災害復旧費  
1億1,800万円  
農道27箇所



公共土木施設災害復旧費  
2億336万円  
市道198箇所 鳴滝公園

# 3月 定例市議会

平成30年3月2日(金)～3月22日(木)

平成30年度当初予算案など原案どおり可決

## 大田市まち・ひと・しごと

### 大田市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略



学校図書館活用事業

鳥根県大田市

「大田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に盛り込まれた取り組み 16億3,500万円



中心市街地の活性化と都市環境の整備 4億3,600万円

# 4月臨時市議会

平成30年4月19日(木)

## 鳥根県西部地震復興へ向け 全力で取り組む！

4月一般会計補正予算  
12億円



鳥根県西部地震被災者  
生活再建支援金支給事業

1億7,655万円

住宅被害1,500件想定

# 平成30年度一般会計予算討論 ～要旨

## 賛成



胡摩田弘孝 議員

事業の選択と集中をより徹底し、歳出を抑制した予算編成となっている。

大田市総合計画に掲げる6つの基本方針に基づく主な事業について、賛成の立場から意見を申し上げる。

### ①地域資源のネットワークによる活発な産業づくり

6次産業化の取り組みやIT産業育成支援事業、全国植樹祭推進事業など、産業振興の有効な事業と捉える。

観光振興は、石見神楽振興事業、仁摩地区道の駅整備事業など地域資源を活かした取り組みを期待する。

### ②だれもが住みよく、安心・やすらぎを感じる生活づくり

新病院建設については有利な財源確保とスケジュール通りの建設を望む。地域医療、医師確保に最大限の努力を望む。

### ③県央の中核都市にふさわしい、快適な基盤づくり

道路維持事業、西部消防署庁舎新築整備事業、高規

「生活が苦しい」「負担を軽くしてほしい」など市民の暮らしをどう守るのか。国の言いなりの予算ではなく、国の悪政からの防波堤の役割を果たしているのかで評価し、次の8点について反対する。

### ①行財政改革推進事業

民間委託、民営化の推進、指定管理制度から民営化へ、定員管理の適正化など推進すれば、地方自治体本来の役割が果たせなくなる。

### ②公共施設適正化計画

公共施設の統廃合からくる生活の不便さ、人口減少へと悪循環を起こしてはいけない。地域のまとまり、まちづくりとの関係で考えるべきである。

### ③生活及び医療費扶助

政府は10月から3年かけ基準額を5%下げる計画である。国の弱いものいじめのやり方に反対の声をあげていただきたい。

### ④保育園の指定管理から民営化への動き

「安全で安心な保育を」という保護者の願いに応え

格救急自動車の更新など必要不可欠な基盤整備である。確実な成果と柔軟な取り組みを期待する。

### ④石見銀山をはじめとする歴史文化を生かした創造的な人づくり

キャリア教育推進事業、小中高魅力化推進事業など、有効的な事業であると捉える。

また、特別支援教育体制推進事業やスポーツ、文化の振興を図る「激励金交付事業」を評価する。

### ⑤自然との共生や循環型社会を目指す生活環境づくり

次期可燃ごみ処理施設の事業母体である邑智郡総合事務組合との連携と、大田市の主体的な事業実施を望む。この事業の市民への理解、協力を得られるような取り組みをお願いする。

### ⑥参画と協働によるまちづくり

行政が全てのことにに関わり合いを持つということは、現実的に不可能である。「自分たちにできることは自分たちで」、市民総参加型の「オール大田」的な事業展開が求められる。

## 反対



大西 修 議員

るものとなっていない。児童福祉法、子ども権利条約に基づいて地方自治体が責任をもって実施すべきである。

### ⑤次期可燃ごみ処理事業

広域処理ではなく、単独処理とすべきだった。徹底したごみ減量で焼却炉を造らないという、高い目標を持って取り組むべきである。

### ⑥石州瓦等利用促進事業

瓦や市産木材の支援に特化するなら、住宅リフォーム助成制度を復活すべきである。

### ⑦らとちゃんバス運行業務委託

平成29年実績は、411人の乗降客だった。予約制ということで、観光客から多くの苦情が出ている。費用対効果が非常に低いので、見直しを図るべきである。

### ⑧石見神楽振興事業

助成額に不公平感があり、一体的に補助すべきである。

# 人事議案

▼教育委員会教育長の任命につき同意を求めること

全会一致で同意

大國晴雄教育長の任期が平成30年3月31日をもって満了のため、新たに船木三紀夫氏（五十猛町）を任命することを求めたもの。



船木三紀夫  
教育長

▼人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること（4件）

4件とも異議なく同意

現委員である山根茂樹氏（川合町）及び鷺合良子氏（温泉津町）の任期が6月30日満了のため、それぞれ後任として三上里子氏（川合町）及び梅田明江氏（温泉津町）を任命すること。同じく現委員である恒松幸子氏（長久町）及び片岡昭之氏（二瓶町）の任期が6月30日満了のため、同氏を再任することについて、意見を求めたもの。任期は3年。

# 議員提出議案

▼小中学校へのエアコン設置に係る補助の予算を拡充することを求める意見書

採択

1. 学校施設へのエアコン設置に係る補助の予算を確保、増額すること、並びに要件等の拡充を図ること。  
2. 学校施設へのエアコン設置をリースで対応した場合にも、国庫補助の対象とすること。

## 全員協議会の議題

議案の審査または議会の運営に関する協議・調整をおこないます

2月19日

- ・大田市使用料及び手数料の見直し
- ・大田市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画
- ・波根保育園における指定管理者制度導入
- ・温泉津保育所湯里分園の休園

3月20日

- ・次期可燃ごみ処理施設整備
- ・西部消防署庁舎新築整備事業
- ・宗岡家住宅の利活用
- ・大田市土地開発公社の清算結了

3月9日

- ・大田市総合計画の策定状況
- ・大田市公共施設適正化計画
- ・設備投資に係る新たな固定資産税特例

3月22日

- ・次期可燃ごみ処理施設整備

## ◇3月定例会提出議案等賛否一覽表

議員名等	議決結果	賛成	反対	木村幸司	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	石田洋治	松村信之	小林太	松葉昌修	河村賢治	林茂樹	大西修	月森和弘	塩谷裕志	有光孝次	福田佳代子	石橋秀利	清水勝	内藤芳秀		
■市長提出議案																								
議案第437号 平成30年度大田市一般会計予算	原案可決	15	2	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第438号 平成30年度大田市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	15	2	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第439号 平成30年度大田市国民健康保険診療所事業特別会計予算	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第440号 平成30年度大田市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	15	2	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第441号 平成30年度大田市介護保険事業特別会計予算	原案可決	15	2	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第442号 平成30年度大田市生活排水処理事業特別会計予算	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第443号 平成30年度大田市簡易給水施設事業特別会計予算	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第444号 平成30年度大田市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第445号 平成30年度大田市大田市駅周辺土地区画整理事業特別会計予算	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第446号 平成30年度大田市下水道事業特別会計予算	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

◇3月定例会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等 議決結果	賛 成	反 対	木 村 幸 司	森 山 幸 太	胡 摩 田 弘 孝	森 山 明 弘	小 川 和 也	石 田 洋 治	松 村 信 之	小 林 太	松 葉 昌 修	河 村 賢 治	林 茂 樹	大 西 修	月 森 和 弘	塩 谷 裕 志	有 光 孝 次	福 田 佳 代 子	石 橋 秀 利	清 水 勝	内 藤 芳 秀
<b>■市長提出議案</b>																						
議案第447号 平成30年度大田市水道事業会計予算	原案可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第448号 平成30年度大田市病院事業会計予算	原案可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第449号 平成29年度大田市一般会計補正予算(第6号)	原案可決	15:2		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	●	○	—
議案第450号 平成29年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第451号 平成29年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第452号 平成29年度大田市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第453号 平成29年度大田市生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第454号 平成29年度大田市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第455号 平成29年度大田市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第456号 平成29年度大田市病院事業会計補正予算(第4号)	原案可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第457号 代官所地役人遺宅宗岡家の設置及び管理に関する条例制定について	原案可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第458号 大田市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例制定について	原案可決	15:2		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	●	○	—
議案第459号 大田市中企業・小規模企業振興条例制定について	原案可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第460号 大田市空家等対策協議会設置条例制定について	原案可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第461号 公益的法人等への大田市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第462号 大田市貸付金の返還債務の免除に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第463号 大田市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	15:2		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	●	○	—
議案第464号 大田市地域振興を促進するための固定資産税の課税免除等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第465号 大田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	15:2		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	●	○	—
議案第466号 大田市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	15:2		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	●	○	—
議案第467号 大田市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	15:2		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	●	○	—
議案第468号 大田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	15:2		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	●	○	—
議案第469号 大田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	15:2		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	●	○	—
議案第470号 大田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第471号 大田市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	14:3		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	●	○	—
議案第472号 大田市共同作業所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—



◇ 3月定例会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対	木村幸司	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	石田洋治	松村信之	小林太	松葉昌修	河村賢治	林茂樹	大西修	月森和弘	塩谷裕志	有光孝次	福田佳代子	石橋秀利	清水勝	内藤芳秀
<b>■市長提出議案</b>																							
議案第473号 大田市企業立地奨励条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第474号 大田市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第475号 大田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	15:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第476号 財産の無償譲渡について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第477号 財産の処分について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第478号 大田市過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決	15:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第479号 大田市立久手保育園の指定管理者の指定について	原案可決	15:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第480号 ロード銀山の指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第481号 三瓶こもれびの広場(木工芸体験施設等)の指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第482号 三瓶こもれびの広場(管理棟)の指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第483号~486号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第487号 教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	原案同意	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>■議員提出議案</b>																							
意第18号 小中学校へのエアコン設置に係る補助の予算を拡充することを求める意見書の提出について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>■請願・陳情</b>																							
請願第7号 年金の毎月支給を求める意見書採択方について	不採択	5:13	○	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	○	○	○

※定数20名(現員19名)、うち議長(内藤芳秀)は採決に加わりません ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々) ※欠は欠席

◇ 4月臨時会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対	林茂樹	亀谷優子	根宜和之	和田浩司	三谷健	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	石田洋治	松村信之	小林太	河村賢治	内藤芳秀	大西修	月森和弘	木村幸司	塩谷裕志	清水勝	石橋秀利
<b>■市長提出議案</b>																								
議案第1号 平成30年度大田市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号 平成30年度大田市生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号 平成30年度大田市簡易給水施設事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号 平成30年度大田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号 平成30年度大田市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号 平成30年度大田市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号 平成30年度大田市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号 監査委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	14:4	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	除	●	○	●	○

※定数20名、うち議長(石橋秀利)は採決に加わりません ※○は賛成、●は反対等(反対、態度保留等々) ※除は除斥

# いっぱん質問



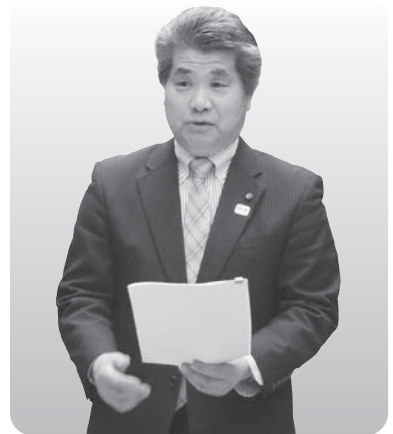
市政に対する一般質問は、3月7日、8日に行われ、6人の議員が執行部の考えをたどしました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は、紙面の都合上、広報広聴委員会で選定し、1人1議題としています。（内容は、ホームページ（<http://www.city.ohda.lg.jp/>）で閲覧できます。）

▲「みんなでこいのぼりを作ったよ。」こいのぼりのまわりではしゃぐ子どもたち（あゆみ保育園）

## 農業の維持・発展のために 担い手確保対策を

基盤整備を促進し、  
担い手へ農地集積、  
高収益作物の転換を図る

胡摩田 弘孝 議員



規就農者には、就農に向けて必要な技術を習得するための農業研修に要する経費に対して支援していく。

**質問** 大田市農業の維持・発展のためには、人材の確保・育成が最も重要な課題であり、そのためには就農者の実態に応じた総合支援が求められる。  
市として、将来の地域を支える担い手の確保策や農林大学校、邇摩高校との連携について伺う。

**答弁** 担い手確保の方策として、認定農業者には、経営基盤の強化を図るための施設の改修、機器の購入などに要する経費に対し支援していく。また、新規設立した集落営農法人には、農地を維持するため必要となる農作業場等の施設の整備に対して支援していく。わびら、新

農林大学校との連携については、充実した研修・加工施設などの活用と併せ、豊富な教授陣と学生、生産者及び関係機関との交流を図っていきたいと考えている。邇摩高校との連携については、公益財団法人しまね農業振興公社が主催する「大田地区農業高校推進会議」に出席し、高校とJAしまね、農業等地域関係者が情報を共有し、人材の確保、育成に向けた取り組みを行っている。



▲土地基盤整備工事が進められている（波根地区）

## 大田市高齢者福祉計画 及び第7期介護保険 事業計画を問う

介護予防事業などが効果あり  
さらなる充実・強化に努める

森山 明弘 議員



事業の充実及び強化が効果的であると考え、高齢者体力アップ教室や0854-8体操の普及を通じ、運動機能向上を図っていく。また、身近な高齢者のふれあいサロンや生きがい活動などの地域介護予防活動支援事業を実施していく。

**質問** 第7期第1号被保険者保険料基準額の算定では、第6期に比べ700円増の6500円と設定されている。今後、介護給付費の伸びによる影響額と、第1号被保険者数の減による影響額を、極力抑制するため、どのような対応を想定しているのか伺う。

**答弁** 第7期介護保険事業計画では日常生活圏域を、人口規模や高齢化の差異、市街地と中山間の住民の結びつきなどの違い、そして抱える課題の違いなどから、さらなるきめ細かな福祉活動を図るため、7圏域を10圏域に変更した。保険料などの抑制には、介護予防

特に、地区に協議会を組織し実施している高齢者の「通いの場づくり事業」も、現在市内8地域で実施されており、利用者の調査では「以前より体力がついた。」「外出機会が増えた。」など重度化防止に効果があると評価されている。市内全域での実施と介護予防の活動内容の充実を図り、抑制に努めていく。



▶介護予防集いの場  
(久利まちづくりセンターにて)

## 使用料の見直しを

設置目的に沿っていれば、  
今まで通り無料である

福田 佳代子 議員



している方は、現行と変更はない。この度の見直しは、適正な受益者負担のあり方、また算定方法の明確化の観点から行ったものである。

まちづくりセンターにおいては、まちづくり活動の推進に資する設置目的に合致していれば、基本的には使用料は必要ない。

サンレディー大田については、冷暖房の利用料金のみを規定している。今後、会議室、調理実習室、軽運動室などの利用料は原則負担してもらおうことになる。

しかし、設置目的を判断できないケースは、関係者に説明の場を設けさせていただく。

**質問** 27のまちづくりセンターは、運営委員会などで、年間の事業計画を立て、様々な活動をしている。例えば、大田まちづくりセンターは、平成24年度、延べ2176団体、利用人数は、29,255人となっている。まちづくりセンターの使用料が発生すれば、利用者が減少し、市民の元気が失われ、町の活気も後退するのではないか。サンレディー大田の使用料についても、併せて所見を伺う。

**答弁** まちづくりセンター、サンレディー大田の使用料については、設置目的に沿って利用され



▶サンレディー大田

## 仁摩道の駅計画の見直しの内容は

必要不可欠な機能に  
絞り込み、コンパクトに  
スタートする

河村 賢治 議員



た。しかし、将来展望や市の財政状況等も考慮し、まずは道の駅がビジネスとして成功するための必要不可欠な機能に絞り込み、コンパクトにスタートするよう見直しを考えている。

**質問** 平成33年度中に開設予定の「仁摩道の駅」は、国土交通省のエリアを外れ、県道沿いに設置される見込みである。当初は、総事業費約16億円とも言われていたが、現在、計画の見直しをされている。その内容について伺う。  
また、運営団体や物販などの内容についての計画も伺う。

**答** 道の駅については、平成27年9月に整備構想、平成28年3月に整備計画を策定、平成28年度から道の駅推進室を設置し、整備をしている。

当初は、将来的に必要なと想定される機能も盛り込む方向で検討している。

また、運営団体や物販は、さまざまな観点から大田市観光協会と運営計画の作成をお願いしている。野菜や果物等の産地直売については、JAしまね及び生産者団体、並びに島根県等と生産者の掘り起こしや新規作物への取り組み、加工利用等の協議を進めており、生産量の拡大と確保に向け、積極的に取り組んでいく。

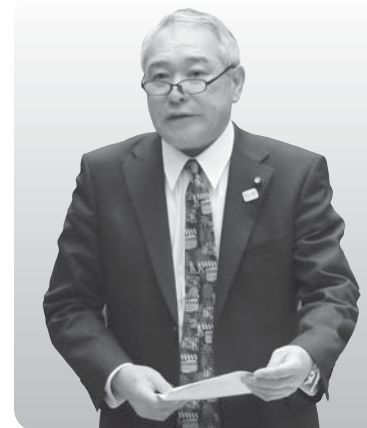
併せて、飲食については、大田市の魅力を発信する食の提供拠点を想定しており、魅力あふれる道の駅となるよう検討を進める。



## 介護事業の処遇改善と、 自宅介護の負担軽減を

処遇改善は引き続き国に要望する  
また、ホームヘルパー不足の対応策と  
在宅介護サービスの充実を図る

大西 修 議員



### 質問

全国では、老人福祉・介護事業所の倒産は、過去最高になっている。今回の改定で事業所の窮状を打開していない。  
大田市でもホームヘルパーが不足している、訪問介護サービス事業から撤退する事業者も出ている。どう対応するのか伺う。

また、国は施設介護から自宅での介護を進めてきた。家族にとつて大きな負担である。軽減する施策を伺う。

### 答

介護事業の処遇改善や人員配置基準の緩和等については、引き続き国、県に対して市長会を通じて要望していく。

ホームヘルパー不足の対応策としては、平成30年度から身体介護を行わず、掃除、洗濯等の生活支援だけを行う基準緩和型訪問サービスとして、総合事業ささえあい型を開始する。現在このサービスの担い手を育成するための養成研修会を開催しており、市内から14名の方が受講中である。

在宅介護の負担軽減策としては、在宅介護サービスとして小規模多機能型居宅介護と、定期巡回・随時対応型訪問介護看護がある。第7期介護保険事業計画では、小規模多機能型居宅介護1カ所の整備を見込んでいる。

また、定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、市内には現在1カ所整備されている。日中、夜間を通じて定期的な巡回と随時の通報により居宅を訪問し、介護や看護、緊急時の対応を行うものである。在宅介護を行う家族にとって安心・安全を提供できるサービスとなっている。

# 個人向けオンラインサービス「マイナポータル」の活用を

マイナポータルを  
活用して市民の利便性の  
向上につなげる

石田 洋治 議員

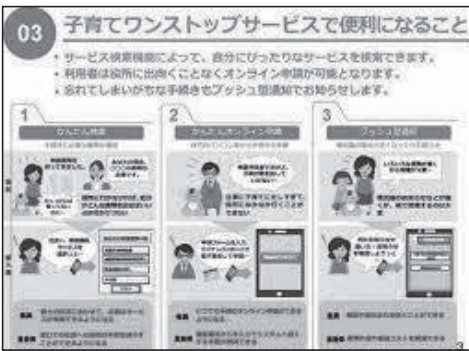


**質問** マイナナンバー制度において、政府が運営する個人向けオンラインサービス「マイナポータル」を活用することで、ワンストップで、いつでもどこでも手続きができるようになる。

昨年、本格運用がスタートしている子育てワンストップサービスについて、運用方法、市民への周知、また、個人情報保護の観点から所見を伺う。

**答弁** 子育てワンストップサービスについては、マイナポータルにアクセスすることにより、児童手当、児童扶養手当、保育、母子保健といった子育てに関連するサービス

の検索や申請手続きがオンラインで行うことができることから、市民の利便性につながるものと考えている。大田市におけるマイナポータルカードの交付率は、1月末現在で9.9%と低い。このことから、今後、広報誌や市のホームページなどを通じて、マイナポータル利用促進を図る。マイナポータルを利用して申請手続きされた内容についても、特定個人情報等の取扱規定に基づいた徹底した管理を行い、個人情報の保護に努めていく。



▶ オンラインサービス「マイナポータル」画像

## 山陰道 朝山・大田道路開通！



山陰自動車道朝山・大田道路(6.3キロメートル)が、3月18日(日)に開通しました。国道9号線の難所として知られる「仙山峠」を迂回する形で、通過時間を2分短縮でき、物流効率や救急搬送の迅速化が期待されています。また、大田朝山インターには、信号のない環状交差点が2つ隣接する「ツイソラウンドアバウト」が全国で初めて設けられました。



サンレディー大田で開催された開通式典には、関係者約300人が出席しました。市議会としても、議長をはじめ、多くの議員が参加し、開通を祝いました。

また、現地では、祝賀行事が盛大に執り行われました。

内藤議長は、小中学生たちとくす玉を割り、同時に、幼稚園児・保育園児とその保護者など130人が持っていた風船が、青い空めがけて一斉に舞い上がりました。輝かしき未来の大田市を想像させるような光景でした。

山陰自動車道の全線の早期完成を願うと共に、大田市のさらなる発展を期しました。

## 行財政改革特別委員長 最終報告

行財政改革は終わりになき  
政治課題、新年度以降も引き  
続き特別委員会設置を望む



松村 信之 委員長

12月定例会で委員長報告を行った後、2回の委員会を開催した。

### 第14回（1月23日）

#### ○大田市公共施設適正化計画の策定

第1期計画（平成28年～平成33年）は、利用されていない施設等は、「廃止対象施設」、耐震基準を満たしていない施設は「早急な判断が必要」と考えている施設」として、施設の廃止を検討するというものである。第2期計画（平成34年～）は、法的耐用年数の経過時期を目安に、統合や複合化、相互利用や共同設置などを検討していきたいとの説明を受けた。

#### 主な意見

・柔軟性を持って施設の目的外使用ができるよう規制緩和をするべきだ。  
・市営住宅など未だ住民が住居している施設については、住人と協議の場を設けて進めてほしい。

#### ○大田市使用料及び手数料の見直し

合併時に一定の調整は図られたが、「公平性・公正性を確保するため、負担の見直しを図る中で、適正化に努める」ものであり、減免規定等を含め見直しをはかるとの説明を受けた。

#### 主な意見

・類似施設の統一的な料金の調整は必要である。しかし、その中でも市民の負担増になるものはできるだけ避けてほしい。

### 第15回（2月14日）

#### ○ブロックによるまちづくり

新年度からの見直し方針について報告を受けた。①まちづくり委員会は一律に設置せず、希望のあるブロックのみ継続して設置する。運営交付金は交付するが、活動交付金は交付せず、活動については他の制度を活用する。②ブロック会議は、引き続き実施し、ブロック内の情報・課題等の共有を図る。

#### 主な意見

・手挙げ方式についてはプレゼンテーションの仕方など、しっかりとサポートしてほしい。

#### ○総括

事務事業評価結果に対する今後の方針

#### 主な意見

・各委員が今一度その事業ごとに深く検討するべきではないか。  
・監視、調査、政策提案機能を発揮し、一定の役割を果たした充実したものであった。

## 大田市立病院医療体制検討 特別委員長 最終報告

県央の中核病院として  
なくてはならない病院  
完成に向けて努力を



石田 洋治 委員長

2月20日、第16回の委員会を行った。医療体制の充実及び新病院建設などについての検討、意見具申・委員会のまとめをした。

市長から「新病院建設は、1月から準備工事に着手し、3月3日には本体工事着工に向けた安全祈願祭が行われる運びとなった。整形外科医師の確保など、残された課題はあるが、地域医療の充実に向け、一歩一歩進んでいく覚悟である。」と挨拶があった。

続いて、病院事業管理者から「医師が増加し、病床稼働率も向上してきた。収益は増加傾向にあり、診療内容も向上している。4月には、大学からの医師派遣等も含め、最大5名程度の医師の増員が図られる。」と挨拶があった。

次に、運営状況について説明があ

り、質疑に入った後、特別委員会を閉じるにあたり、今後の病院運営、医療体制、病院建設について意見具申を行った。

#### 主な意見

- ①地域医療について、診療所がなくなる地域がある。交通手段のない地域の方々の医療を守っていただきたい。
- ②整形外科医獲得に向け、引き続き努力していただきたい。医師会から意見が出ているとおり救急患者を門前払いすることなく、一度は診ていただきたい。
- ③この診療科は県下ナンバーワン等、特徴ある病院づくりをしていただきたい。働く方の処遇改善にも取り組んでいただきたい。
- ④新病院建設の業者選定、ECI方式において、入札金額の評価点について疑義を持っている。
- ⑤新病院を建設し、地域における中心的な病院として市民対応に気を付けながら体制を構築していただきたい。
- ⑥特別委員会は、市民と病院、議会と病院、市の執行部と議会の信頼関係を構築する上で、大きな役割を果たしてきた。今後、県との信頼関係をどう構築していくか。病院建設についても、様々な情報を市民・議会に開示し、建設時における信頼関係を構築し、完成に向け努力していただきたい。

## 地域活性化調査検討 特別委員長 最終報告

持続可能なまちづくり推進へ  
課題解決のため、取り組みむべき  
事項について、提言書を提出



塩谷 裕志 委員長

12月定例会で委員長報告を行った後、2月23日に、意見交換会での地域課題と、提言について取りまとめを行った。提言書に基づき、報告する。

### 設置目的

「住みやすいまちづくりの確保が第一義」という観点から調査検討し、市の施策の充実に向け反映するよう、意見具申することを目的に設置したものである。

### 協議の経緯

市が現在取り組んでいる「地域交通」「買い物支援」「定住対策」「地域のまちづくり」の取り組み「などの現状・実態や、取り組みを阻む要因、財政措置の実態について、調査し、

市の担当者とも協議を重ねてきた。地域のまちづくり関係者からアンケートを実施し、27のまちづくり関係者、総勢58名この意見交換会を開催、意見集計・集約作業の協議をした。

持続可能なまちづくりのための課題解決のため、大田市が今後取り組むべき事項として、提言書を提出する。

### 提言

地域の課題には、地域固有の課題もあれば、共通した課題もある。

その解決には、地域ごとに解決を図るべきものと、地域間の連携により解決を図るべきものがある。既存制度の制約や財源確保など、課題解決の実施には、時間を要する。

将来的には確実に取り組むべき事項として大きく4項目に集約し、提言する。

### ① 持続可能な集落機能(小売店など)の確保と対策

人口減少と消費者ニーズなどの社会変化により、最低限の生活基盤である小売り店や燃料店、医療施設などが、地域内でなくなりつつある。

高齢者世帯など交通弱者への対策として、小さな拠点エリアの設定、形成のあり方に併せ、各地域の生活基盤の対策などの検討に取り組むべきである。

### ② 現公共交通の見直しと、地域交通の確保・拡充

自家用車の使用頻度の高い当市において、これまで予算措置も含め、JRや路線バスなどの公共交通に頼ってきたが、乗車率は地域によって低迷している。地域の高齢化と核家族化により、通院・通学、買い物等、支障が生じつつある。駅や停留所までの移動も困難な方が増加する傾向である。

今後の過疎高齢社会においては、地域内交通などの拡充に併せ、これまでの公共交通のあり方と、予算措置の抜本的な見直しが必要であり、将来へ向け対応可能な取り組みを検討すべきである。

### ③ 空き家、並びに荒廃農地の方針の提示と対策

中山間地はもとより、市街地においても顕著に見られる。所有権など制約はあるものの、都市計画づくり、持続可能なまちづくりの観点から、行政としてできる法規制の緩和などの働きかけとともに、土地家屋の再生活用や、支援体制づくりに取り組むべきである。

### ④ 人材育成の環境づくりの支援

「まちづくりは人づくり」というものの、少子高齢化、人口減少、社会的価値観の変化により、自治組織、伝統行事の継承や若者の地域への参画の意識低下など、地域課題のこ

見をうかがった。

職員の寄り添う姿勢は何よりも大切であり、併せて、地域での人材を育成する環境づくりの支援についても、積極的に取り組むべきである。

特別委員会において、地域課題のテーマを掲げ、地域に出かけ、意見交換をさせていただいた。地域の方々の真剣な姿勢や、取り組み、そして切実な訴えをお聴きできたことは、大変有意義であり、今後必要であると感じた。



▶地域との意見交換会(高山ブロック)の様子

# 新総務教育委員会紹介

4月の改選により、新体制となりました。委員会メンバーも変わり、心機一転！初心にかえり頑張っていけます！気軽に声をかけてください。

今回から3回にわたり、委員会ごとに“大田市のここに注目！夢☆私が考える任期4年後のおおだ”と題し、4年後の任期を一区切りとし、夢あふれる大田市の未来像を語っていただきます。まずは、政策企画部、総務部、消防部、教育部、総務教育委員会です。

## 小林 太 委員

山陰道の全線開通により大田市の持つ観光資源の発信力が高まり、観光客の増加で観光収入と雇用拡大が進み、夢と自信に満ちた大田市。

## 本村 幸司 委員

安心・安全、豊かで元気、市民が助け合い連携しながら、誰もが意見し提案できる、市民と共に創りあげる大田市。

## 石橋 秀利 委員

大田市の未来は、若者が住みたいと思う魅力あるまちづくり。若者と高齢者の融合で、いきいき大田市。

## 松村 信之 委員長

地震災害における復興復旧も進み、既に市立病院も開院し市民の皆様「安心安全なまち大田」をイメージしてもらえている。また、大田市駅前開発構想が現実化している。

## 胡摩田弘孝 副委員長

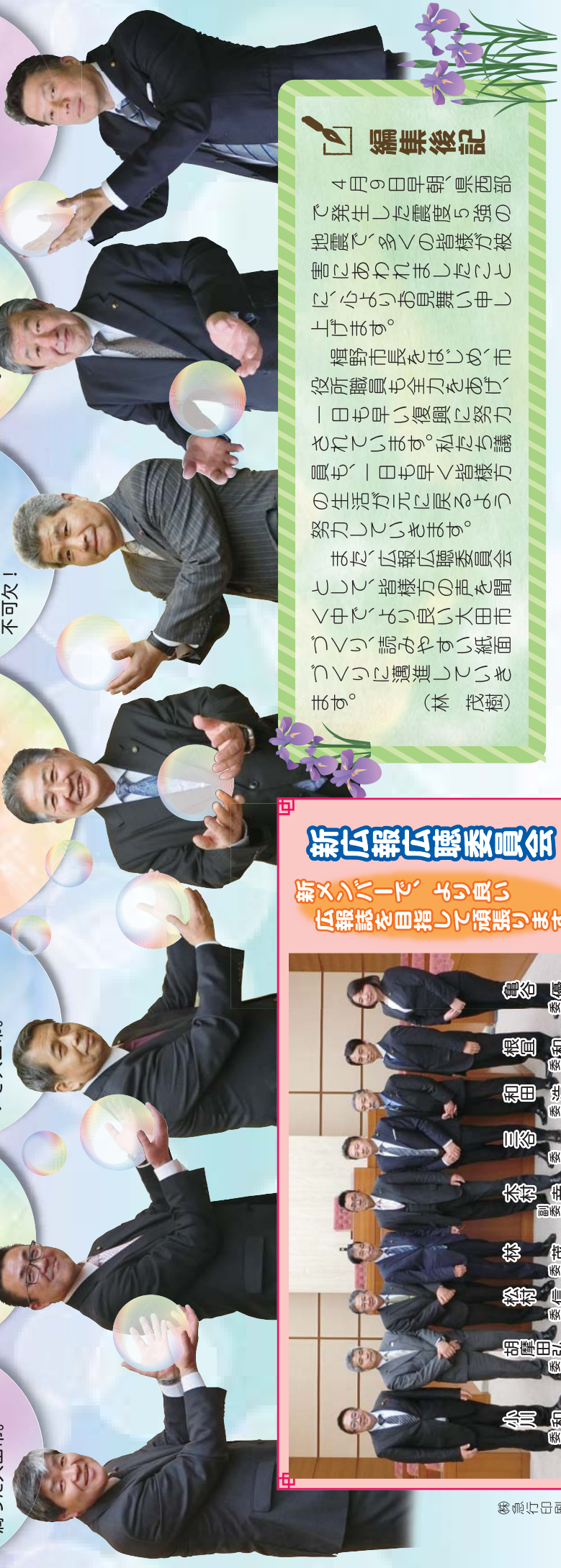
4年後には、農畜産物の販売高1億円以上の産品が複数になるようにしたい。それには、地域資源の活用による担い手の確保。6次産業化の支援が必要不可欠！

## 河村 賢治 委員

子どもたちに建築土木や、地域産業に携わっていく大切さを語り、少しでも多くの地域後継者ができていることを目標(夢)にしたい。

## 三谷 健 委員

どなたでも暮らしやすく、困っている人を見捨てない、住民同士が支え合う共生の町、大田市の実現。



# 議会傍聴のご案内

次の定例会は

**6月8日～22日**の予定です。市議会を身近に感じる良い機会です。お気軽にお越しください。

◇傍聴席は定員64人です。  
◇多数で傍聴に來られる場合は、あらかじめ議会事務局へご連絡ください。

## 新広報広聴委員会

新メンバーで、より良い広報誌を目指して頑張ります！



## 編集後記

4月9日早朝、県西部で発生した震度5強の地震で多くの皆様方が被害にあわれましたことに、心よりお見舞い申し上げます。

梶野市長をはじめ、市役所職員も全力をあげ、一日も早い復興に努力されています。私たち議員も一日も早く皆様方の生活が元に戻るよう努力していきます。

また、広報広聴委員会として皆様方の声を聞く中で、より良い大田市のつくり、読みやすい紙面づくりに邁進していきます。

(林 茂樹)